

～水産エコラベル認証商品の販売量拡大と学校給食向けルートの開拓～ 愛南サステナブルフィッシュ加工連携協議会（愛媛県愛南町）

背景・課題

愛媛県愛南町は養殖業が盛んで、特に養殖マダイに関しては、全国トップクラスのシェアを誇っている。構成員である愛南漁業協同組合は従来の産地商社主体の流通から、生産者主体の地域ブランド化に取組み、年間を通じた魚価安定や付加価値向上に取組んでいるものの、地域加工業が脆弱なことに加え、MEL認証等を取得したものの、末端の小売側がCoC認証取得していないパターンが多く、サプライチェーンが途切れる等、不完全な状態にある。また、養殖マダイを学校給食等に供給しているものの、コスト面や加工体制の問題から注文に対応できていない。

取組のポイント

- ・ 小学校等で行う従来の「ぎょしょく教育」や「ぎょしょく出前授業」に、水産エコラベルの説明を交えた内容を展開し、より海洋環境に興味を持ってもらうとともに、水産エコラベル認証魚の商品提供を行う。
- ・ スライサーおよび真空包装機を導入し、従来の手切りから、商品の量産化によるコストダウンを図る体制を整備する。

取組の成果

- ・ 水産エコラベル等の説明を交えた「ぎょしょく教育」や「ぎょしょく出前授業」が好評で、継続的な取組みとして食育活動に貢献。
- ・ 導入機器により学校給食向けに加え、ふるさと納税の返礼品等の商品化も実現し販路拡大に期待。
- ・ 認証を取得した水産物の加工品製造により、付加価値向上を実現するとともに、構成員間の連携が強化。

プロジェクトフロー

地元養殖漁業者

養殖マダイの生産量は多いが、生鮮出荷が主体で、市場の影響を受けやすい。

水産エコラベル等の認証を取得し、付加価値向上及びブランド化を推進。

認証取得拡大に向けた活動
地元水産加工業との連携強化
付加価値向上

協議会

水産エコラベル認証を取得しているものの、有効活用できていない。加工体制が整っておらず、注文に対応できていない。

学校への出前授業強化。
加工工程を機械化し生産量拡大。

学校給食へ継続的な納品
認証商品に関心ある企業へ販路拡大
商品バリエーション増加

スライサー



真空包装機



製造商品

